

医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）
中間評価結果

1. 補助事業課題名 : 胃・大腸生検の病理診断支援 AI システムの開発・事業化
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 常木 雅之（メドメイン株式会社）
3. 中間評価結果 : 留意事項を付した上で次年度の事業を継続する

<評価コメント>

病理医が不足する中、AI を用いることで確定診断の精度向上や遠隔地へのサポート、迅速化に資する取り組みであり、医師の負担軽減に寄与し、働き方改革に繋がる点は評価できる。また病理診断の効率向上や診断支援による誤診の防止に貢献することが期待出来る。

今後は、事業化するにあたり販売戦略を明確にすること。また、どのような保険適用の前提で医療経済性が担保されるのかを具体的にすること。

以上